

<発表事由>

- 1 入院事例
- 2 死亡事例
- 3 集団発生事例
- 4 その他(特に注意喚起等が必要)

令和4年7月27日 16:00 現在
保健医療局 健康医療部 保健予防課 担当：麻生嶋、麻生
TEL 711-4270 (内2061)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について

博多区内の医療機関から2歳男児及び5歳男児の腸管出血性大腸菌感染症の発生届出があり、博多保健所が調査(検便)を行った結果、当該男児が通う博多区内の保育施設の他の園児からも腸管出血性大腸菌が検出されましたのでお知らせします。

1 概要

- 7月10日(日) 博多区居住の2歳男児に下痢症状が出現。
- 7月12日(火) 発熱の症状が出現。医療機関を受診。検査を実施。
- 7月14日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症(0157:VT1VT2)が検出される。
医療機関より博多保健所に発生届が提出される。
博多保健所が、男児の家族及び男児が通う保育施設について、健康調査、感染拡大防止の指導を実施。
- 7月19日(火) 同保育施設に通園する博多区居住の5歳男児に発熱の症状が出現。
- 7月20日(水) 下痢、腹痛、嘔吐の症状が出現。医療機関を受診。
- 7月21日(木) 検査を実施。
- 7月23日(土) 検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症(0157:VT1VT2)が検出される。
- 7月25日(月) 医療機関より博多保健所に発生届が提出される。
博多保健所が、男児の家族及び男児が通う保育施設について、健康調査、感染拡大防止の指導を実施。
- 7月26日(火) 博多保健所が実施した検査の結果、男児が通う保育施設の他の園児2名からも菌(0157:VT1VT2)を検出。
- 7月27日(水) 男児が通う保育施設の他の園児1名からも菌(0157:VT1VT2)を検出。

2 陽性者の区分(現時点)※初発の患者を含む。

園児	性別	2歳	5歳	計
	男	3 (3)	1 (1)	4 (4)
	女	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	計	4 (4)	1 (1)	5 (5)

()内の数は、有症状の人数

3 患者の状況

重症者はおらず、全員快方に向かっている。

4 行政対応

患者及び家族並びに保育施設に対する健康調査及び感染拡大防止の指導を実施。

5 原因 調査中

腸管出血性大腸菌感染症患者・感染者の福岡市への届出状況(令和4年7月27日現時点)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
3	5	2	3	4	6	9	5	19	7	8	4	4	76
4	4	2	4	2	11	18	17	-	-	-	-	-	54

※本件を含む。

※腸管出血性大腸菌は、0-157が代表的ですが、他に0-111、0-26などがあります。上の表は、これらの総数です。

【特記事項】

患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道をお願いします。

【市政記者クラブの皆様へ】

例年、夏場を中心に腸管出血性大腸菌感染症（O-157等）が多数発生しています。

記者クラブ各位におかれては、次のことを市民の皆様呼びかけていただきますようお願いいたします。

- ・帰宅時、食事前、トイレ、おむつ交換のあとは石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- ・浴槽は毎日洗い、浴槽につかる前は肛門部等を十分に洗いましょう。
- ・激しい腹痛、水様便、著しい血便などの症状があったら、すぐに病院で検査を受けましょう。
- ・調理するときは十分に加熱し、調理した食品は速やかに食べましょう。
- ・焼き肉の際など、生肉に触れた箸で食べないようにしましょう。
- ・包丁、まな板、布巾等は、よく洗った後、熱湯をかけるなどして消毒しましょう。
- ・高齢者や乳幼児の方は、症状が重くなりやすいので、感染予防に配慮し、感染が疑われた時は、すぐに医師の診察を受けるようにしましょう。